

# まちがと ピンナッツ



～不法投棄の根絶を願い～

## 植木堤の清掃奉仕作業を実施

7月6日(火)

「植木堤」(国府地内)に不法投棄されたごみの撤去作業を行いました。鳥取県産業廃棄物協会中部支部から無償で提供された大型重機やダンプなどを使い、久米ヶ原土地改良区の皆さんをはじめ総勢約60人で2tダンプ10台分のゴミを撤去しました。

～このまちで働く人へエールを送る～

## 商工従業員激励大会

7月7日(水)

商工従業員激励大会が倉吉未来中心で行われました。新規卒業者への激励と、市内事業所で永年勤務した人への表彰が行われると、被表彰者は「より一層の研鑽を重ねて、地域の発展に尽くしていきたい」と決意を述べられました。



～利用しやすい図書館を目指して～

## 市立図書館来館者300万人達成!

7月14日(水)

市立図書館の来館者が300万人を突破しました。300万人目の利用者は、あかちゃんのおはなしかいが好きという君嶋優子ちゃん(9か月)でした。セレモニーで人に囲まれたので少し驚いた様子でしたが、手渡された記念品に興味津々でした。



## 関金海洋センターカヌー教室受講生が大活躍! 小学生カヌー全国大会へ出場



6月19日(土)に東郷湖特設カヌーコースで開催された、鳥取県小中学生カヌー大会で、カヌー教室受講生が大活躍しました。胸を張って7月31日(土)から山梨県で行われる小学生カヌー全国大会へ出場します。

## ヒマワリ1万本が咲きます



社保育園、社小学校6年生と社老人クラブの皆さんの協力のもと、6月に種をまいたヒマワリが咲きます。1万本のひまわりをお楽しみください。

ところ：ふれあい花広場(国庁裏神社の北側と西側の2か所)



### 甲子園への道

夏になると、皆さんの頭に思い浮かぶものは何でしょうか。海水浴、スイカなど、いろいろあると思いますが、私はまず、甲子園を目指す球児の黒く日に焼けた顔が浮かんできます。

とても小さい一つのボールを、投げて、打って、それを追いかけて、また投げるスポーツを、学校をあげて声がかかるほど応援します。プレーする選手は、ユニフォームが泥だらけになることも忘れてボールに集中します。白いユニフォームに身を包み、余計に日焼けした顔が目立つ彼らが、私にとって夏の代名詞になっています。

前にもこの紙面で書きましたが、私は交流員になる前に、高校で韓国語を教える仕事をして

いました。日本の高校で働ながら、間近で見る高校球児が、私にはとても新鮮でした。

韓国にも高校野球はあり、いくつかの全国大会と、その地方予選などがあります。それなのに、なぜ私が日本の高校野球に、これほど熱中してしまうのか考えてみました。

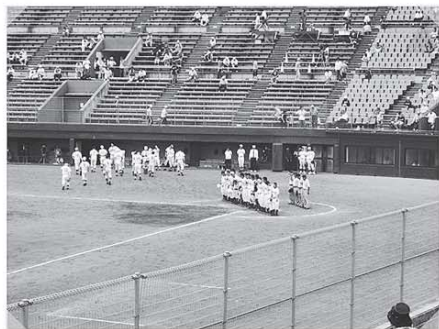
私の母校は、数少ない野球部のある高校で、クラスの中にも野球部員が何人かいました。今は変わりつつあると思いますが、彼らはほぼ毎日練習で、ほとんど一緒に勉強をすることがなかつたため、同じクラスの友達という感覚が、あまりありませんでした。私自身も、毎日夜遅くまで補習授業と自習に追われる日々、応援に行く余裕もなく、仮に応援に行くとしても、それは授業や自習からの解放に過ぎませんでした。

しかし、日本の高校で見た球児たちは、私が教えているクラスに入り、なかなか覚えられない韓国語に苦労しながらも、授業が終わると夜遅くまで練習に励んでいました。同じクラスで一緒に授業を受け、テストで悩み、学園祭の準備で共に泣き笑った友達が、貴重な時間

を割いて練習した成果を見せる甲子園への県予選大会。全校生徒、先生、保護者が、グラウンドとベンチにいる選手やマネージャー、コーチに、一丸となつて声を上げて応援をします。もちろん私も一緒に頑張って応援し、とても楽しいひと時を過ごしました。

暑い太陽の下で汗を流し、いつ引退になるかも知れない3年生や、ホームプレートで校歌を歌いながら、甲子園を夢見る生徒たちにとつて、この夏がよい夏になることを祈っています。

●今月の一言  
「파이팅!」  
「ファイト!」



▶試合終了後、校歌を歌う選手たち

### 情報化の社会を生きる



インターネットや携帯電話などの普及により、簡単に情報を発信したり、受信したりできるようになりました。

しかし、このような便利な社会にも問題はあります。

それは、個人情報の流出や詐欺まがいの情報、個人を誹謗・中傷するような悪質な情報の発信などです。

これらを防ぐには、インターネットに関する知識の習得はもちろん、その都度対応を図るとともに、「なるべく正確な情報を発信、受信しよう」という姿勢が大切であり、何よりマナーを守ることが必要です。

自分自身のガイドラインを作成したり、自主規制を設けた上で、必要な情報をキャッチし、整理して活用することが、情報化社会において、私たちの生活をより豊かにしていくのではないのでしょうか。

~有料広告募集中~

【大きさ】  
1号:縦5cm×横18cm  
2号:縦5cm×横9cm  
3号:縦5cm×横6cm

【掲載料】  
1号:30,000円/回  
2号:15,000円/回  
3号:10,000円/回

倉吉市総合政策室  
22-8161 / 22-18144

長期優良住宅認定 スーパーウォール工法の家

高温多湿の今こそ 体感のチャンス!

## モデルハウス

オープン! 平日: 9:00~17:00 日・祝日: 10:00~16:00

快適 省エネ 耐震 安心

平成20年度地域住宅モデル普及推進事業

むかいぐみ 26-3221 / 26-6718 倉吉市上井 ミスタードーナツ横 <http://www.ii-ie.net/mukaigumi/>

明治大学 マンドリン倶楽部 エンサート 倉吉演奏会

とき 8月28日(土) 開場:午後5時30分 開演:午後6時

ところ 倉吉未来中心 大ホール

◆主催:明治大学校友会鳥取県支部 料金 一般 2,000円 高校生以下 1,000円  
明治大学校友会倉吉地域支部  
プレイガイド:倉吉未来中心・パルブルクワン トミヤ楽器店・はと楽器

地元高校生(倉吉東・倉吉北・鳥取中央育英) 80名による大合唱出演(曲目:手紙、YELL)

# キラ★リ

No.51

はまだ けんたろう  
**浜田 健太郎** さん  
 (倉吉東高1年・写真左)  
 もり まさや  
**森 将也** さん  
 (湯梨浜学園高1年・写真右)



ロボカップ2010  
 シンガポール世界大会出場

## ★最近の話題

**浜田さん** —— 6月にシンガポールで行われたロボカップ2010世界大会に出場しました。本番は思い通りにいかないこともあり悔しかったです。でも、世界クラスのロボットを知ることができたので、今後の参考にしたいと思います。また、いろんな国の人たちとコミュニケーションをとることが大変でした。慣れない英語でもしっかりと伝わるようにいろいろな努力しました。  
**森さん** —— 世界大会では、試合会場にあわせ、できる限りの対応をしたのですが、予選では6勝2敗1引き分けで、チーム成績総合5位で、残念ながら決勝リーグへは進出することはできませんでした。世界のトップレベルのロボットを見ることができたり、世界各国の人と交流できたり、いろいろな経験をすることができました。応援していただいた多くの人に、とても感謝しています。

## ★趣味は？

**浜田さん** —— 電子回路を組んでプログラミングすることです。人ができないことにチャレンジするのが好きです。また、来年の学園祭に向けて、友達とバンドを組んでベースを担当しています。人前で演奏するのが楽しみです。  
**森さん** —— ロボット作り、そしてプログラミングです。ロボットを組み上げ、そのロボットをプログラムで動作をさせることがとても面白いです。考えた通りにいかず、失敗することもあります。問題を解決し、制御できたときは達成感があります。

## ★今後の目標

**浜田さん** —— 来年の世界大会で優勝することです。世界大会ではパワーで勝負をしてくるロボットが目立ったので、自分たちは来年までに、それに勝る技術を身に付け、大会を勝ち進みたいと思っています。  
**森さん** —— 目標は、来年も世界大会に出場することです。今回の世界大会での経験をいかし世界大会でも通用するロボットを作りたいと思っています。また、少し先のことですが、ロボット技術をさらに勉強し、地雷除去ロボットや、災害救助ロボットなど、世の中の役に立つロボットを研究し、作りたいと思っています。

プロフィール：浜田さん…平成6年生まれ／血液型A型  
 森さん…平成7年生まれ／血液型B型



## 救急法を知って子どもを守る

小さい子どもと過ごしていると、「あっ」と思う瞬間、けがをしたり、思わぬ事故が起こってしまったりする場合があります。こんなときに救急法を知っていると、慌てずに対応することができます。お子さんと一緒に救急法を学んでみませんか？

**と き**：8月25日(水)午前10時30分～正午  
**と ころ**：子育て総合支援センター「おひさま」  
**対 象**：未就学児の子どもと保護者(25組程度)  
**講 師**：倉吉消防署職員  
**申込期限**：8月20日(金)

問 子育て総合支援センター「おひさま」(TEL/FAX 22-3914)

# 鳥取短期大学

キャンパス 261  
 175



## 倉吉市美術展覧会で受賞しました！

生活学科住居・デザイン専攻では、授業などで作成した作品を展覧会やコンペに出展しています。このたび、2年生17人、専攻科生3人が第56回倉吉市美術展覧会のデザイン部門に出展し、3人が市展賞、3人が奨励賞を受賞しました。

そのほかの学生についても全員が入選を果たしました。市展賞を受賞した、専攻科の白石淳美さんの作品「WONDER WONDER WONDER」は、自分で作ったキャラクターをい

かして、入浴剤のパッケージとそのポスターを表現しました。2年生の小西優子さんが制作した「Everyday happy」

は全体的にはのぼのとしてかわいらしい雰囲気の商品になっています。また、同じく2年生の池田晋平さんの「紛争」ではシンプルな画面構成の中に、強いメッセージが表現されています。

第3回オープンキャンパス開催

8月22日(日)午前11時15分～午後3時30分(受付午前10時30分)

内容…卒業生パネルディスカッション

2619171

問 鳥取短期大学入試広報課 (TEL/FAX 22-3914)

携帯で申し込みできます



参加申込用QRコード

## ●倉吉市の人口 (基本台帳)

23,990人(← 11)男  
 26,758人(+ 2)女  
 50,748人(← 9)計  
 20,392世帯(+ 2)

## ●外国人登録者数

85人(← 1)男  
 203人(+ 3)女  
 288人(+ 2)計  
 243世帯(+ 1)  
 (H22.6.30現在)

## 編集後記

■昔、花火を上げる仕事にあごがれていました。流れの早い現代社会でも、「変えてはいけないものもある」と語る長谷川商店の長谷川さん。仕事への自信と誇りがあってこそその言葉です。やっぱり、カッコイイ(Y.T) ■取材先で、「あれはだれだろう？」と不審がらされているのは取材になりません。どんなに暑くても、大きな声で挨拶し、自分の存在をアピール。大きな声で堂々とした態度が、取材相手を安心させ、いい笑顔をつくり出すと思います(A.T)

